

平成二十五年
高等学校入学者選抜学力検査問題

第一部

国語

注意

- 1 問題は、**一** から **四** まであり、7ページまで印刷してあります。
- 2 答えは、すべて別紙の解答用紙に記入し、解答用紙だけ提出しなさい。
- 3 問いのうち、「……選びなさい。」と示されているものについては、問いで指示されている記号で答えなさい。
- 4 問いのうち、字数が指示されているものについては、句読点や符号も字数に含めて答えなさい。

一 次の問いに答えなさい。

問一 (1)～(4)の——線部の読みを書きなさい。

- (1) 日本の文化を海外に紹介する。
- (2) 平穩な毎日を過ごす。
- (3) 音楽を聴いて気持ちを紛らす。
- (4) 進歩の跡が著しい。

問二 (1)～(4)の——線部を漢字で書きなさい。

- (1) でんたつ事項を黒板に書く。
- (2) 学級新聞のへんしゅう委員になる。
- (3) 銀行にお金をあずける。
- (4) おごそかに儀式を執り行う。

問三

□で囲んだ漢字を説明した次の文章の①に当てはまる語句を書きなさい。また、②に当てはまる語句を、ア～エから一つ選びなさい。

照

行書で書かれたこの漢字の部首名は、①であり、漢字の成り立ちとしては、音を表す部分と意味を表す部分が組み合わされた②文字に分類される。

ア 指事

イ 象形

ウ 会意

エ 形声

問四 次は、ある中学校で開かれる合唱発表会のちらし（A）と、生徒が書いた保護者への案内文の原稿（B）です。これを読んで、(1)、(2)に答えなさい。

（A）ちらし

合唱発表会

1. 日 時
9月30日（日）
午前9時 開演
2. 会 場
〇〇中学校体育館
3. その他
・ビデオ撮影可
・飲食不可

（B）案内文の原稿

保護者の皆様へ

皆様、元気でお過ごしですか。

さて、私たちは、九月三十日（日）午前九時より、本校体育館で合唱発表会を行います。

皆様によい発表ができるよう、毎日練習していますが、ぜひお越しください。

なお、会場では、

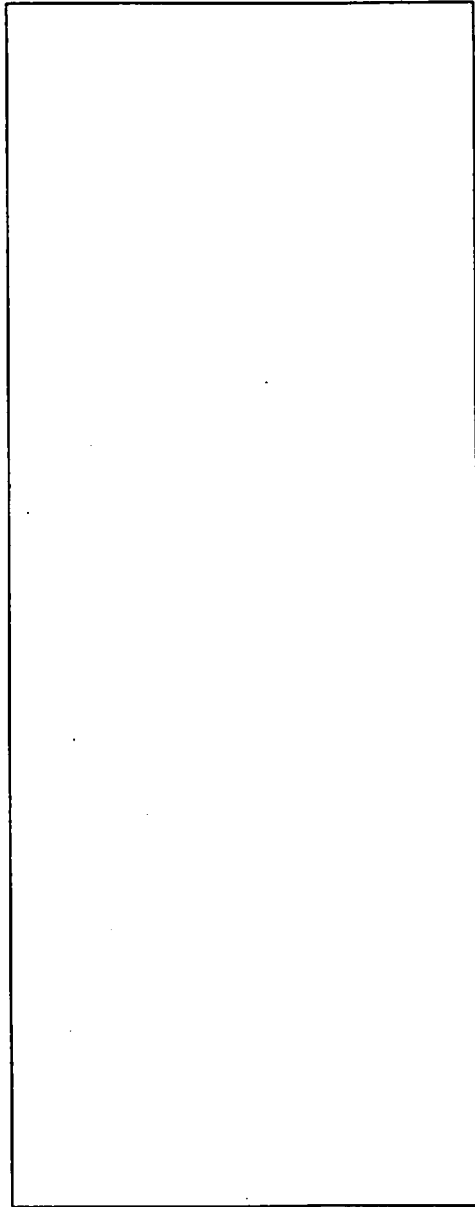
生徒一同

- (1) (B)の案内文の原稿の——線「皆様によい……お越しください」は、「毎日練習していますが」と「ぜひお越しください」との言葉の関係が不適切です。この文の内容を変えないように、「していますが」の部分の適切に書き直しなさい。

- (2) (A)のちらしの内容をもとに、(B)の□に入る表現を考えて、一文で書きなさい。

二 次の A、B に答えなさい。

A 次の文章を読んで、問いに答えなさい。



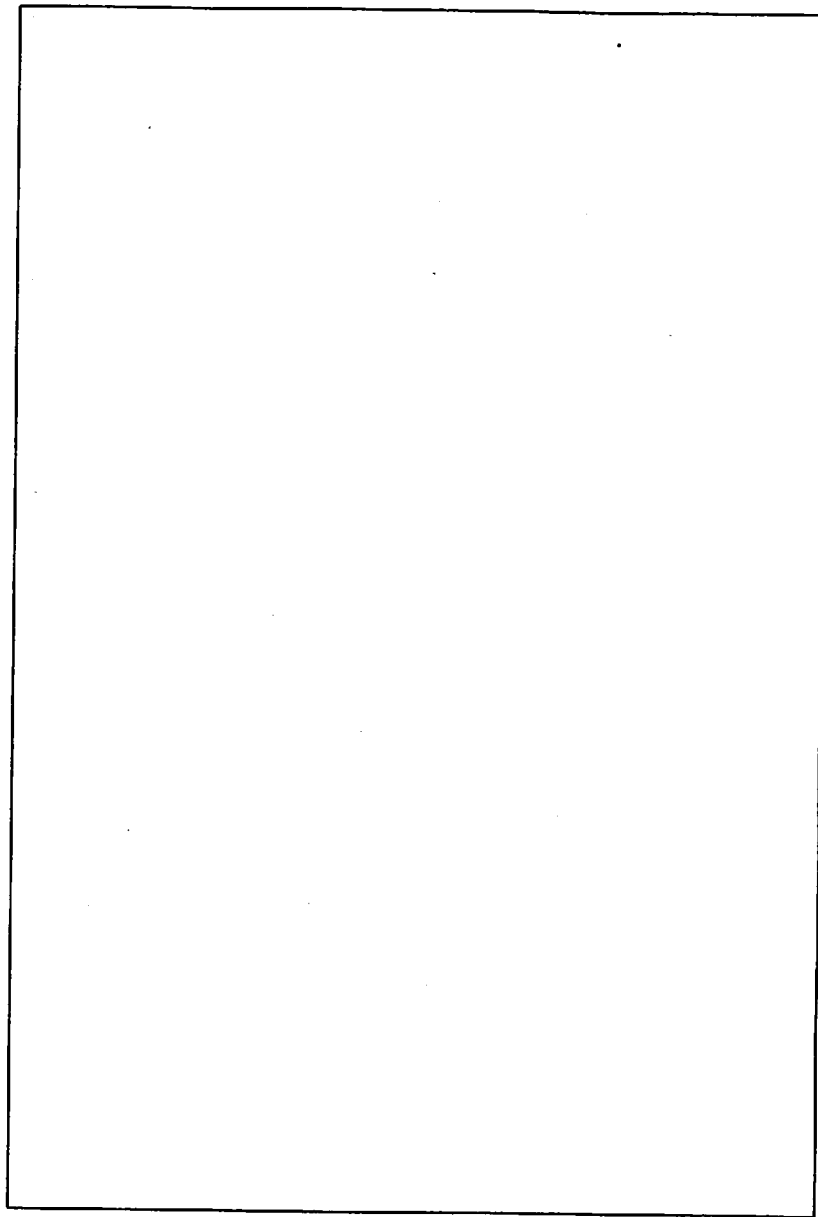
問一 〰〰〰線1の読みを書きなさい。また、〰〰〰線2を漢字で書きなさい。

問二 〰〰〰線「全く予想もしなかったことを」は、いくつの文節に区切ることができますか、
文節の数を算用数字で書きなさい。

問三 文中の に当てはまる最も適当な語を、ひらがな二字で書きなさい。

問四 この文章で筆者は、文学作品を読むことは旅に似ていると述べていますが、その理由を説明している一文の、最初の五字を書きなさい。

B 次の文章を読んで、問いに答えなさい。



問一 次の一文は文中から抜いたものです。①～⑦の段落のうち、どの段落の直後に入れるのが最も適当ですか、算用数字で答えなさい。

陸地というおくりものです。

問二 この文章で、どろの干潟ができる様子が具体的に述べられている段落の組み合わせとして、最も適当なものを、ア～カから選びなさい。

- | | | | | | |
|---|-----|---|-----|---|-----|
| ア | ①と② | イ | ②と③ | ウ | ③と④ |
| エ | ④と⑤ | オ | ⑤と⑥ | カ | ⑥と⑦ |

問三 この文章の表現上の特徴を次のように説明するとき、に当てはまる最も適当な語句を書きなさい。

この文章には、①の段落の「潮の満ち干はわたしたち人間に、潮干狩りをプレゼントしてくれました」など、法と呼ばれる表現上の技巧が多く用いられ、親しみやすい文章になっている。

三

次の文章を読んで、問いに答えなさい。

問一——線1「目の当たりにしたのも同然の気になれる」とありますが、これはどのような気持ちになれることを表したのですか、最も適当なものを、ア～エから選びなさい。

ア 実際に金時丸に乗船したような気持ち。

イ あたかも金時丸のすべてを知ったような気持ち。

ウ 実際に金時丸を見たような気持ち。

エ あたかも船着場で金時丸を描いたような気持ち。

問二——線2「さちはすぐには答えなかった」とありますが、これはどうしてですか、六十字程度で書きなさい。

問三——線3「師匠に教えを請う弟子のような所作」とありますが、このような永承の所作は、どのようなことを成し遂げていたさちに対する、どのような気持ちによるものですか、文中のことはを用いて五十文字程度で書きなさい。

問四——線4「両目を開いた……さちを見た」とありますが、このときの永承の気持ちを、次のようにまとめるとき、①、②に当てはまる表現を、それぞれ文中から書き抜きなさい。ただし、①は十五字以内、②は三十五字以内とします。

金時丸を下見に行ったとき、さちは自ら①
そのような地道な努力はしておらず、何事においても、②
ことに気付き、金時丸をもう一度見に行こうと決意した。

四

次の文章を読んで、問いに答えなさい。

木下何某の、近臣をうち連れて楼に登り眺望ありしに、遥の向ふに松ありて、梢に鶴の巢をなして、雄雌餌を運び養育せる有り様、遠眼鏡にて望みしに、松の根より、よほど太き黒き木の段々木へ登る様、うはばみの類なるべし。「やがて巢へ登りて雛をとり喰ふならん。あれを制せよ」と、人々申し騒げどもせん方なし。しかるに、二羽の鶴のうち、一羽蛇を見付けし体にてありしが、虚空に飛び去りぬ。「哀れいかが、雛はとられなん」と手に汗して望み眺めしに、もはや、かの蛇も梢近く至り、あわやと思ふ頃、一羽の鶯遙に飛び来り、蛇の首を喰へ、帯を下げし如く空中をたち帰りしに、親鶴も程なくたち帰りて雌雄巢へ戻り、雛を養ひしとなり。鳥類ながら、その身の手に及ばざるをさととりて、同類の鶯を雇ひ来りし事、鳥類心ありける事と語りぬ。

(根岸鎮衛「耳袋」による)

(注) 何某——人の名を省略したり、ぼかしたりしていることば。

鶴——ここでは、コウノトリやアオサギなど、「鶴に似た鳥」のこと。

うはばみ——大きな蛇。

問一 〰〰線ア―エのうち、鶴の動作を表しているものを、一つ選びなさい。

問二 〰〰線「人々申し騒げども」とありますが、人々は、何がどうすることを予想して騒いでいるのですか、十五字程度で書きなさい。

問三 この文章の内容を説明したものとして最も適当なものを、ア―エから選びなさい。

ア 弱いものが、身に降りかかった災難を自分だけの力で解決しようと努力して、思いもよらない力を発揮することで解決した。

イ 賢いものが、身に降りかかった災難を自分だけの力では解決できないと判断し、多くの仲間と協力し合うことで解決した。

ウ 賢いものが、身に降りかかった災難を自分だけの力で解決しようと考えて、あきらめずに何度も挑戦することで解決した。

エ 弱いものが、身に降りかかった災難を自分だけの力では解決できないと気付き、強いものの力を借りることで解決した。

第一部 国語

正 答 表

問題 番号	一																二								三				四			計						
	問一				問二				問三		問四		A				B		問	問	問	問四		問	問	問												
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	②	①	(1)	(2)	問一	問二	問三	問四	問一	問二	問三	問四	②	①	問一	問二	問三													
	しょうかい	へいおん	まき(らす)	いちじる(しい)	伝達	編集	預(ける)	厳(かに)	れつか(れんが)、「れんか」、「よつてん」も可	エ	(正答例)	していますので	(正答例)	ビデオ撮影はしてもよいですが、飲食はできません	おどろ(く)	映画	4	ない	そこで日常	2	オ	撮人	ウ	(正答例)	見詰めている半紙の上に、金時丸の形が浮かんで見えたことを、紙の上に線が見えない永承に言っているのか判断がつかなかったため。	(正答例)	紙を見詰めていれば、描きたいものが浮かんで見えるようになることを成し遂げていたさちを心底敬っている気持ち。	船の長さと幅を歩幅で測ったものが成り立っているのか否かの分かれ道は、心がけの差のなかに潜んでいた	イ	(正答例)	蛇が鶴の雛を食べてしまうこと。		エ					
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	3	3	1	1	2	2	2	2	3	3	3	3	2	4	5	2	4	2	2	2		3	3	3	60		
正	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	㉞				
採点基準	一																二				三				四													
問四(1) 「していますが」が「ぜひお越しく下さい」と適切につながるように、理由を示す言い方で書かれているものを正答とする。																	問二 1 「見詰めている半紙の上に、金時丸の形が浮かんで見えたことを、紙の上に線が見えない永承に言っているのか判断がつかなかった」ことが適切に表現されているものを正答とする。 2 永承には「紙の上に線が見えない」ことを欠いた場合は二点を減じる。 3 字数については、解答欄の枠内で答えるものとし、それを超えるもの、または、極端に少ないものについては、各一点を減じる。 4 その他については、一の問四(2)の採点基準2、3に準じる。																問三 1 ①「紙を見詰めていれば、描きたいものが浮かんで見える」と、②「さちを」敬っている「ことの二点が適切に表現されているものを正答とし、いずれか一方を欠いた場合は二点を減じる。」 2 その他については、問二の採点基準3並びに一の問四(2)の採点基準2、3に準じる。			問四(2) 1 ビデオ撮影はできるが、飲食はできないことが一文で適切に表現されているものを正答とする。 2 表現の稚拙なもの、不十分なもの、表記上の欠陥があるものについては、各一点を減じる。 3 減点の結果がマイナス点にならないようにする。		

(注) 正答表に示された事項以外のものについては、学校の判断による。